

# マレーシア工科大学論文作成 WS

## 事後報告書

生命環境科学研究科

丸山優樹

- 論文作成 WS 概要

3月7日から11日の5日間マレーシア工科大学でワークショップは行われました。講師は International Water Association (IWA) でご活躍された Professor Gustaf Olsson と Professor Helmut Kroiss が論文作成に関して様々なアドバイスをくださいました。ワークショップの主な進行としてはまず、論文を Title・Abstract・Keywords・Introduction・Material & Method・Result & Discussion・Conclusion・Acknowledgement & Reference の8つのパートに分けて、書き方・表現方法・主張すべき点・してはいけない表現などについて講義を受けた後、実践演習という形で、参加者が持参した投稿予定の論文の修正を講師の方々と議論をしながら行うという形でした。さらに、研究内容をいかにインパクトがあるように限られた時間の中で相手に伝えるかという技術を高めるために3分と5分で研究内容をプレゼンテーションする演習も行いました。

- 学んだこと

ワークショップに参加時は修士1年ということもあり、卒業論文以外の論文は書いたことがなく、英語での投稿論文の書き方というのは大変新鮮な情報でした。また講義の主旨は論文構成であったものの、読者にインパクトを与える文章構成は論文以外でも全ての文章において大変重要なことであり、勉強になりました。また、これまで論文を作成するうえで軽視していた Title や Keywords が読者の興味をひく上で大変重要であることも認識できました。また、上述のように研究内容のプレゼンテーション方法に関してもご指導をいただき、大変充実したワークショップでした。

本ワークショップでは、講義よりも、講師や参加者と自身の論文に関して議論をして分かりやすい表現や不足事項などを発見するということを中心であったため、研究内容の説明能力や議論能力を向上させるうえでも大変貴重なものでした。

今後本ワークショップで学んだことを生かし、より質の高い論文を作成していきたいと思います。ワークショップを運営してくださったマレーシア工科大学の方々、講師の先生方さらに本ワークショップへの参加のためにご尽力いただいた筑波大学の方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。